

給食だより

令和6年
1月号

春日部市立
豊野小学校



あけましておめでとうございます。新年を迎え、3学期が始まりました。寒い時期ですが、子どもたちは元気に登校しています。今年もよく食べ、よく体を動かして、夜はしっかり休む。健やかな心と体で、すくすく成長して欲しいと願っています。

給食室も子どもたちのために、おいしく安全で、食生活の手本としていただけるような給食となるよう努力してまいります。今年もよろしくお願いいたします。

あけまして
おめでとう

新春食育かるた



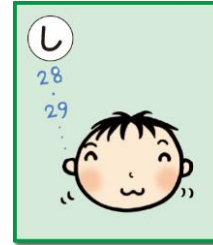
朝ごはん、
食へて始まる
天気な一日



健康をつくる
食事、運動、
よい睡眠



「まじわ(は)
やさしい」
和の食材は
健康の友



しっかりと
よくかみ食べよう
目標ひと口30回



手洗いを
よくしてウイルス
シャットアウト



「おいしいな!」
笑顔で囲む
楽しい食卓



目いっぱい
感謝を示そう
食事のあいさつ



伝統を
受け継ぎ愛そう
ぼくらの
ふるさと



とりすぎは
注意だ
さとう、塩、
あぶら



うんち見て、
しっかり確認
自分の健康

1月24日～30日は全国学校給食月間

学校給食は、明治22(1889)年に山形県鶴岡市で初めて実施されて以来、各地に広がりました。しかし、戦争のため中断されました。戦後、食糧難による子どもの栄養状態の悪化を背景に、給食実施の必要性が指摘され、世界からも給食用物資の寄贈がありました。そして学校給食は再開されました。昭和21(1946)年12月24日のことです。この日が今に続く学校給食の誕生日になりますが、多くの学校が冬休みに重なるため、1ヵ月延ばして1月24日を「給食記念日」とし、30日までの1週間を「全国学校給食週間」にしています。

戦後、学校給食は学校で行う教育の1つに位置づけられました。健康の保持・増進だけでなく、将来、健康的で望ましい食生活を送るための手本となり、また学校での学びを深めるための生きた教材としての活用も積極的に行われています。みんなで協力し助け合うことの大切さを学び、自然の恵みや人々のはたらきに感謝し、ふるさとやさまざまな地域の食文化を理解して未来に伝える、そして食を通して社会をよく知るといった目標が現在、学校給食には課せられています。子どもたちの健やかな心と豊かな心を育むための力となれるように日々努力を続けています。この機会に学校給食の歴史を知り、給食や食事について考えるきっかけになると嬉しいです。

豊野小でも1月24日(水)は、学校給食として初めて提供された「おにぎり・焼き魚・漬け物」をイメージした献立(ごはん・牛乳・鮭の塩焼き・おひたし・すいとん)を提供予定です。いつもの給食とは少し違うシンプルなものになりますが、昔の給食を思いながら食べてみてください。

3学期も「早寝・早起き・朝ごはん」の継続をお願いします

まだまだお正月気分が抜けなかったり、寒い季節でなかなか布団から出ることができない人もいます。ですが、「早寝・早起き・朝ごはん」は毎日を元気に過ごすためにとても大切です。3学期も早く寝て、早起きをして、朝ごはんをしっかり食べて、体も心も起こしてあげましょう。